

全環衛生事業協同組合

【特集広告】



下水道の事業拡大へ

全環衛生事業協同組合 若生伸二理事長インタビュー



理事長
わこう しんじ
若生 伸二氏
泉興業代表取締役

仙台市出身・1964年生まれ(54歳)、2005年6月～15年6月..全環衛生事業協同組合青年部部長就任、12年5月～16年6月..宮城県中小企業団体青年部連絡協議会会長就任、19年7月..全環衛生事業協同組合理事長就任

同組合は、仙台市公共下水道の本管・取付管の緊急管渠清掃と産業廃棄物汚泥の中間処理を柱に事業を実施している。2018年1月に建設業許可を取得し、下水道施設の維持管理に加え、計画から建設・更新工事までのワンストップサービスの表現を自指す。

40年を振り返って社会情勢や法律によって変化する衛生業界の動向に常に対応し、信頼と実績を重ねてきた。し尿の汲み取り、水洗化に伴う浄化槽の設置が増加した時代から、公共下水道の普及によって産業廃棄物汚泥、下水道の維持管理が求められるようになった。産業廃棄物業界と密接に関わるため、法改正や社会変化による影響は大きく、これだけ変化が激しい業界には無いたらぬ。

「信頼と実績の鍵となった事業は何ですか」
仙台市下水道の緊急管渠等清掃の全面受注と、汚泥の中間処理施設の建設だ。管渠清掃は24時間・365日対応して

「汚泥の中間処理施設を建設」
汚泥の中間処理施設は、1998年に建設した。当時は、産廃汚泥の増加や、県の汚泥受け入れの制限があり、会員企業は個別に処理する場を求めた。共同利用できる施設を建設することで、効果的な業務運営につながった。結果として事業の柱となっている。

「維持管理の重要性は増している。組合の後」
将来ビジョン達成に繋げ

全環衛生事業協同組合(仙台市若林区)は、建設業許可を取得し、下水道分野の事業拡大と市民サービスの向上に取り組んでいる。若生伸二理事長は「新たな維持管理時代に対応できる体制づくりが重要になる」と将来を見据える。創立40周年を迎え、今後の事業展望について話を聞いた。



「これまでより踏み込み込んだ形で行政と市民双方に貢献することが求められている。下水道管の老朽化が顕在化し、対策は点検と早期補修による予防保全が重要になる。」
将来ビジョンを策定しました。今後の展望は、

沿革	内容
1978年4月	全環衛生事業協同組合創立総会(組員37社)
1979年10月	全環衛生事業協同組合設立登記
1996年4月	仙台市下水道緊急管渠等清掃業務受託(24時間体制受注)
1998年4月	若林区荒浜に組合共同処理施設(全環C.I.)完成、汚泥処理事業開始
2006年1月	仙台市と下水道管路施設災害復旧応援協定締結
2008年12月	官公需適格組合証明(物品納入等)取得
2011年3月	東日本大震災発生。津波で事務所と処理施設が壊滅(9月処理再開)
同3月	仙台市下水道・管路(5月完了)及び南蒲生浄化C(8月完了)震災復旧清掃
2015年9月	仙台市と下水道施設災害復旧応援協定締結
2017年3月	みちのくEMS認証取得
2018年1月	一般建設業許可取得(宮城県知事許可)
同2月	全環将来ビジョン決定
同3月	仙台市水道局と災害支援協定締結
2019年5月	組合創立40周年記念式典開催

百年後も地域に必要なとされる組合



全環衛生事業協同組合

・官公需適格組合(物品納入等)

・下水道清掃事業

・産業廃棄物処理業

・汚泥中間処理施設

・一般廃棄物処理業

・建設業(宮城県知事許可)

組合加盟社

- (株) アームズ東日本
- (株) 泉興業
- いずみ清掃(株)
- インテック(株)
- (株) エコサーブ
- 萱場工業(株)
- 環境設備工業(株)
- 管清工業(株) 東北営業所
- (株) 北日本ウエスタン商事

- (株) 自然環境産業
- (有) 渋谷クリーンサービス
- 鈴木工業(株)
- (協業) 仙台清掃公社
- (有) 仙台福祉清掃社
- (株) 高松衛生工業
- トーエイライニング(株)
- 東北環境整備(株)
- (有) 東北清掃管理

- 東北藤吉工業(株)
- 永根代行(有)
- (株) 西原環境東北営業所
- 日本ハイウェイ・サービス(株) 仙台支店
- ニューホー高圧洗浄(株)
- 丸久(株)
- (株) 宮城衛生環境公社
- (株) 宮城公害処理
- (株) 宮淨

- (株) 宮城日化サービス
- (株) 理化産業
- (協業) アクアネット
- 東亜環境サービス(株)
- (株) ジェイネックス
- (株) 仙台アメニティセンター
- (協業) クリーン・センター宮城
- (株) 三浦組